

1953, 2-3

ジークフリート

No. 3

フィルム・ライブラリーについて

前世紀末、映画がわれわれの前に現われてから今日まで僅か六十年足らずであります。その発展の跡はまことに目ざましいもので、そこに残された名作の数々は二十世紀世界文化の貴重な縮図であるといつてもいすぎではありません。しかし貴重な文化財である映画も、多くの場合、商品としてあつかわれ、一定期間の興行を終ると、われわれの前から姿を消し、その保存とか後日の活用とかいうことについては格別の考慮も払われないのが常であります。

国立近代美術館では、設立以来同館内に定員約百名の映写室をもつ、フィルム・ライブラリーを設け、内外古今の優秀映画の収集保存ならびにその活用について努力いたしております。

「ジークフリート」観賞会について

フィルム・ライブラリーでは、その事業の一部として歴史的価値のある芸術性豊かな映画を観賞し研究することとなり、その第一回として、往年のドイツ映画「ジークフリート」をとり上げ、一般の映画愛好家、研究者に贈ることにしました。

「ジークフリート」は、一九二四年（大正一三年）独逸デクラ・ウファ会社より発売された独逸に伝わる民族的叙事詩「ニーベルンゲン物語」全二巻の前篇（一〇巻）に当るもので、（後篇「クリムヒルトの復讐」）サイレント映画黄金期の傑作です。

今回上映の「ジークフリート」は、昭和九年、伴奏音楽をつけたいわゆるサウンド版となつて、八巻に縮小させ再輸入されたもので、文部省に保存されていたものです。

一九二五年三月二〇〜二五日帝劇で封切された際のプログラムより当時を偲ぶと、

プログラム 午後六時半映写開始

（前略）

独逸デクラ・ウファ映画会社一九二四年度

超特作映画

の歌を解した。それによつて火龍の血に全身を浸して不死身と成つたが、枯葉一つ背に舞ひ落ちて、僅かばかり血潮のかゝらぬ部分が出来た。ジークフリートはアルベリッヒを斃したが、その時アルベリッヒは「ニーベルグンの宝」に呪を与へ、自ら石と化して死んだ。ジークフリートは隠れ篋を獲て、ラインを指して急いだ。グンター王の城で、彼は美しき王妹クリムヒルトを見て、二人の間に恋心が起つたが、王の股肱ハーゲン・トロンエはジークフリートに難かしき試験を与へたので、雄々しきジークフリートは北極光紫に映ゆるアイスランドで強勇の女王ブルンヒルダと戦技を競ふ。グンター王を援け隠れ篋によつて王のためブルンヒルダを破り相携へてブルガンディー城に帰つて来た。王とブルンヒルダ、ジークフリートとクリムヒルト四人の婚宴が開かれたが、ブルンヒルダは剛勇無双のジークフリートを慕つて居たので王に冷たい態度を見せて居た。ジークフリートは王に頼まれ変身の篋もて王に姿を変へ女王の心を試みたが、この事を知つたブルンヒルダは怨み憤つて、さきにクリムヒルトを救いてジークフリートの不死身の秘密を知つて居るハーゲン・トロンエと計り、鹿猟の日、彼の背に槍を投げジークフリートを殺した。愛憎と悔恨に胸破れ、ブルンヒルダも亦彼が亡骸の側に自殺を遂げた。永く呪と復讐の誓を立てたクリムヒルトは唯黙して冷い涙を流して居た。（イギリス映画部輸入）と報じています。

この映画が封切当時どの様に我が国に迎えられたかキネマ旬報第一九〇号（大正一四年四月十一日）は次のように岩崎秋長氏の評を載せています。

「フリッツ・ラングは果して私等の期待に叛かなかつた。否、私等の期待を遙かに超へた。（中略）純絵画的手法といふのが、フリッツ・ラングがこの映画によつて本国の批評家から得た讃辞である。しかも是れが純絵画的であつて唯絵画的でない点に彼の偉大さがある。（中略）これ程独逸らしい映画は今迄出たことは無かつた。古代ゲルマニア人の怪奇な幻想の神祕をこれ程に如実に描き出した芸術品も少ないであらう。私はこの映画に対し、更にそれを生み出した独逸の映画芸術家に対し、無条件に頭を下げると云つても決して盲目的な或は誇張された讃辞ではないと信ずる。」

なお、当時日本映画では、池田義信監督「恋の悲曲」（栗島すみ子主演、松竹蒲田）、村田実監督「大

の歌を解した。それによつて火龍の血に全身を浸して不死身と成つたが、枯葉一つ背に舞ひ落ちて、僅かばかり血潮のかゝらぬ部分が出来た。ジークフリートはアルベリッヒを斃したが、その時アルベリッヒは「ニーベルグンの宝」に呪を与へ、自ら石と化して死んだ。ジークフリートは隠れ篋を獲て、ラインを指して急いだ。グンター王の城で、彼は美しき王妹クリムヒルトを見て、二人の間に恋心が起つたが、王の股肱ハーゲン・トロンエはジークフリートに難かしき試験を与へたので、雄々しきジークフリートは北極光紫に映ゆるアイスランドで強勇の女王ブルンヒルダと戦技を競ふ。グンター王を援け隠れ篋によつて王のためブルンヒルダを破り相携へてブルガンディー城に帰つて来た。王とブルンヒルダ、ジークフリートとクリムヒルト四人の婚宴が開かれたが、ブルンヒルダは剛勇無双のジークフリートを慕つて居たので王に冷たい態度を見せて居た。ジークフリートは王に頼まれ変身の篋もて王に姿を変へ女王の心を試みたが、この事を知つたブルンヒルダは怨み憤つて、さきにクリムヒルトを救いてジークフリートの不死身の秘密を知つて居るハーゲン・トロンエと計り、鹿猟の日、彼の背に槍を投げジークフリートを殺した。愛憎と悔恨に胸破れ、ブルンヒルダも亦彼が亡骸の側に自殺を遂げた。永く呪と復讐の誓を立てたクリムヒルトは唯黙して冷い涙を流して居た。（イギリス映画部輸入）と報じています。

この映画が封切当時どの様に我が国に迎えられたかキネマ旬報第一九〇号（大正一四年四月十一日）は次のように岩崎秋長氏の評を載せています。

「フリッツ・ラングは果して私等の期待に叛かなかつた。否、私等の期待を遙かに超へた。（中略）純絵画的手法といふのが、フリッツ・ラングがこの映画によつて本国の批評家から得た讃辞である。しかも是れが純絵画的であつて唯絵画的でない点に彼の偉大さがある。（中略）これ程独逸らしい映画は今迄出たことは無かつた。古代ゲルマニア人の怪奇な幻想の神祕をこれ程に如実に描き出した芸術品も少ないであらう。私はこの映画に対し、更にそれを生み出した独逸の映画芸術家に対し、無条件に頭を下げると云つても決して盲目的な或は誇張された讃辞ではないと信ずる。」

なお、当時日本映画では、池田義信監督「恋の悲曲」（栗島すみ子主演、松竹蒲田）、村田実監督「大

地は微突む」(岡田嘉子主演、日活)等が封切されて
いたことを参考までに附記します。

(引用文すべて仮名づかい原文のまま)

ジークフリートと

監督フリッツ・ラング

「ジークフリート」はその続篇の「クリームヒルト
の復讐」と共に、ドイツに伝わる民族的叙事詩「ニー
バルンゲン」二部作を形づくるもので、最初に発表さ
れたのは一九二四年、勿論、純然たる無声映画として
であったが、今回上映のものは、それに伴奏音楽をつ
けたいわゆるサウンド版として、トーキー初期に再発
売されたものである。

この映画の製作された一九二四年といえは、第一次
大戦に敗れたドイツの苦難期であつたが、映画におい
てはドイツはその黄金時代を世界に誇ることが出来
た。これより先、敗戦直後の一九一九年に「カリガリ
博士」が現れて、表現主義映画の新分野を開拓し、一
躍世界の注目を浴びてからというもの、「朝から夜中
まで」「罪と罰」「裏街の怪老窟」等の記憶すべき一
連の表現主義映画がドイツ映画を特色づける一方、才
人エルンスト・ルビッチュは「パッション」「デセプ
ション」「寵姫ゾムルン」「ファラオの恋」等で王朝
を背景とする大胆な恋愛映画に縦横の腕を揮つた。ま
た一方では、取材の単純化、象徴化による純粋な映画
的表現の追求として無字幕映画の道が「蠱惑の街」
「除夜の悲劇」等によつて開かれ、来るべきこのジヤ
ンルの傑作「最後の一人」の露払いを勤めた。こうした
ときに当つて、当時の新進気鋭フリッツ・ラングによつ
て作られた「ジークフリート」と「クリームヒルトの
復讐」こそ、その雄大な規模と独特の鋭い視覚美に世
界を感歎させた記念碑的作品であつたと言える。

一八九〇年、芸術の都ウィーンに建築家を父として
生れ、美術学校を出て、画家としての名乗りを挙げた
フリッツラングは、大戦に負傷して絵筆を捨て、映画
監督に転じてからも、その画面構成に他の追隨を許さ
ない。鋭角的な絵画的感覚を誇つた。

彼は、この「ニーバルンゲン」二部作の前にも、
「死滅の谷」「ドクトル・マブゼ」等の佳作を出して

冷徹なタッチとスリリングな雰囲気醸成に非凡な手腕
を見せ、その後も「メトロポリス」の如き大作を発表
したが、このあたりを頂点として漸く振わず、ナチの
民族爾清の嵐と共にアメリカに渡つた。渡米当初は、
ハリウッドの商業主義に妥協せず、仮借ない社会批判
のメスを揮つた「激怒」「暗黒街の弾痕」等の問題作
を連発したが、戦時中から戦後にかけては、スリラー
作家としてその名を謳われ、その一例として我が国に
は、「扉の蔭の秘密」が紹介された。我が国での最も身
近かな封切作品には「外套と短剣」がある。

(フィルムライブラリ運営委員清水晶)

フリッツ・ラング主要監督作品

(括弧内製作年代)

「死滅の谷」(一九二一)

「ドクトル・マブゼ」(一九二二)

「ニーバルンゲン物語」全二部(一九二四)

「メトロポリス」(一九二六)

「スピオーネ」(一九二八)

「月世界の女」(一九二九)

発声以後

「M」(一九三二)

「怪人マブゼ博士」(一九三三)

(以上在独作品)

「リリオム」(一九三三)在仏作品

渡米以後

「激怒」(一九三五)

「暗黒街の弾痕」(一九三五)

「真人間」(一九三八)

「西部魂」(一九四一)

「恐怖の内閣」(一九四四)

「真紅の街」(一九四五)

「外套と短剣」(一九四六)

「扉の蔭の秘密」(一九四八)

「比島の米人ゲリラ隊」(一九五〇)

「ジークフリート」は三月末まで毎週水曜日に一
回上映します。